



ホッツケ田の 番人カカシさん

大賀蓮の花は咲き終わりましたが、そのすぐ隣ではミソハギの花が咲き始めています。ミソハギは日本で昔から親しまれてきた花で、湿地や田んぼの畦によく生え、お盆の頃に咲くことから仏前に供える花として使われてきました。別名を盆花とも言います。ミソハギの見頃は8月いっぱいです。日本の里の花をぜひお楽しみください。



公園の南、御所沼の畔にあるホッツケ田では、どろんこクラブが育てている黒米の稲がすくすくと育っています。5月末に田植えをした時には10cm程しかなかった丈はもう60cmを超えました。気温の高い日が続く夏の間、水が枯れないようにせっせと水遣りをして育てます。そして9月には、②のように稲が実ることでしょう。稲刈りまでは、カカシさんホッツケ田を見守ってください。



公方広場のビオトープ

公方広場を流れる川は二入川と言います。この川には貴重な生物がたくさん住んでいます。⑤はミズワラビと言う植物です。⑥はテナガエビ⑦はアジアイトトンボです。他にもいろんな生物がいます。皆さん見に来てください。

